

# 2018 年度協定校短期プログラム 留学報告書

※記載されている内容は留学時の情報に基づくものです。

学部・学科および学年(留学時)	経済学部 4 年
性別	女
留学先国・大学名	ブルネイダルエスサラーム大学
留学期間	2018 年 8 月 5 日～9 月 3 日

## 留学準備について

留学前あるいは留学中にどのような準備を行いましたか。

特になし。英語の学習は日頃からするよう心がけていました。

## 費用について

(留学にかかった経費を教えてください。)

	日本円	現地通貨
航空券(往復)	約 8 万円	
保険料(本学指定のもの)	約 1 万円	
住居費	約 17 万円 (食費込み)	
食費		
通信費		
おこづかい	約 1.2 万円	
その他( )		
その他( )		

## 留学をした理由等について

なぜ留学をしようと思ったのか教えてください。

- ・英語力を向上したかったから
- ・「1ヶ月間海外の大学に通う」という学生のうちにしかできないことをしたかったから

## 留学先の国・地域および留学先大学について

留学先の国・地域および留学先大学を特に志望した理由があれば教えてください。

- ・英語圏だから
- ・東南アジアをもっと知りたかったから  
(ブルネイは資源豊富国で、他の東南アジアの国々と雰囲気や気候が少し違うと聞いて、興味が湧きました。)

大学が所在する街の様子を教えてください。(街の雰囲気や治安、気候などについて)

治安はものすごくいいです。公共の交通機関がなく、車がないとどこにも行けません。プログラム中は大学が用意してくれたバスで移動していました。気温は30度弱、湿度は日本と同じくらいだと思いました。ブルネイは室内が冷房でとても寒いです。(大学でも購入できますが)厚手のフーディーを持っていくことをお勧めします。

**留学先の国・地域の良い点・悪い点、またそこに留学するにあたって事前に準備したほうがよいことがあれば教えてください。**

〈良い点〉

時間の流れがゆっくりしている。人が本当に親切。

〈悪い点〉

時間の流れがゆっくりしている。待ち時間が長い。

虫が多い（寮の部屋にもアリがいました）。スパイシーな料理が多い。

〈準備したほうがよいこと〉

アレルギーの薬はたとえ日本で使っていないなくても持っていった方がいいと思います。

## プログラムを振り返って

**1日のスケジュールについて教えてください。**

朝食をとり、8時頃集合。午前中は授業またはフィールドトリップ。

12時頃昼食をとり、14時頃再集合。午後はワークショップまたはフィールドトリップ。

18時頃夕食をとり、日によってはその後スーパーやショッピングモールに買い出しに行くことも。

**授業はいかがでしたか。(授業の行われ方・内容に関する日本との違い、課題・勉強量・時間 等について)**

ブルネイに関する授業およびワークショップ（言語、経済、政治、音楽など）でした。

授業は面白いものが多いですが、授業外勉強量はほとんどゼロです。

「座学」したい人には物足りないかもしれません。

**課外活動はいかがでしたか。特に印象に残ったものがあれば教えてください。**

3日間サバイバルキャンプ（OBBDと言います）を行いました。虫も多く、水も限られた劣悪な環境で、正直きつかったです。しかし、グループで結束感を高められたことや、川を小さな船で渡りながらブルネイの自然をたくさん感じられたことはとても良かったです。

**日常生活はいかがでしたか。(寮生活、クラブ活動、ボランティア、学生交流、日本から持参するとよいもの等について)**

プログラム参加者は30人ほどで、半分が日本人、もう半分が香港、中国、台湾、韓国出身でした。

日本人で固まるも、他の国の参加者と仲良くなるも、自分次第といった雰囲気です。

恋バナから各国の価値観や政治まで、英語で議論できた時間はとても貴重なものでした。

ブルネイの観光地はほとんど全て回れました。

**留学をして得たもの、良かった点・悪かった点などを教えてください。**

留学をして特に考えさせられたことが三つあります。

一つ目は、英語をもっと話せるようになりたいということです。香港人は幼い頃から広東語、中国語、英語をペラペラ話せるよう教育を受けているらしく、グローバル化が進む中で、そういう人たちと同じフィールドで将来仕事をして行くこともあるかと考えると、自分の実力不足を感じました。

二つ目は、時間の使い方です。東京の時間の流れの早さに半ば流されていた自分に気づけました。十分にある時間を自分のためにどう使うのか、を考えるきっかけになりました。

三つ目は、日本独特の価値観についてです。資源があまりない島国に住んでいることが自分の考え方や常識の形成に強く影響していることに気づけました。

## 今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイス

このプログラムで何をしたいのか自分なりに考えてから参加したことは、日本人もいて、時間も潤沢にある中で目的を見失わずに行動したことにつながったため、お勧めします！東京ではなかなか味わえない経験や感情にたくさん触れることができました。厚手のフーディー、アレルギーの薬は必要不可欠です！

留学中の様子がわかる写真を数枚貼付してください。(任意)



以上